

南竜ヶ馬場ビジターセンター、南竜ヶ馬場ケビン、南竜山荘、  
南竜ヶ馬場野営場、市ノ瀬野営場及び中宮温泉野営場  
中期経営目標

(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年3月 策定

## 1 施設の設置目的

白山国立公園の優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、県民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的として設置しています。

## 2 施設の果たすべき役割

南竜ヶ馬場ビジターセンター、南竜ヶ馬場ケビン、南竜山荘及び南竜ヶ馬場野営場は、白山の標高約 2,080mに、市ノ瀬野営場、中宮温泉野営場は、それぞれ、白山の登山道である中宮道や釈迦新道、白山禅定道、別山市ノ瀬道付近に位置し、白山登山利用等の休憩基地や宿泊施設として、利用者に対して利便の提供を図るとともに、園地周辺の散策等、野外レクリエーションの場を提供する上で、重要な役割を果たす施設です。

南竜ヶ馬場は、登山初心者でも気軽に登ることができ、さらに、周辺の湿地帯は高山植物の宝庫でもあることから、これから登山を始めたい方に最適な環境であり、県民の登山普及に大きく寄与する施設です。

## 3 事業内容

### (1) 良好な景観や環境の保全

園地や施設の適切な整備と管理により、良好な自然環境の保全に努めます。

### (2) 食事や宿泊等のサービスの提供

白山の施設として、登山者に、食事や宿泊等のサービスを提供します。

### (3) 自然体験・学習の場の提供

市ノ瀬野営場、中宮温泉野営場周辺の園路の散策等、自然体験や自然学習の場を提供し、健全な野外レクリエーション活動を促進します。

### (4) 交流の場の提供

南竜ヶ馬場ビジターセンターで開催されるコンサート「星に一番近い音楽会」への参加を通じた交流の場を提供します。

## 4 現状と課題

### (1) 管理運営体制について

- ・南竜ヶ馬場ビジターセンター、南竜ヶ馬場ケビン、南竜山荘、南竜ヶ馬場野営場、市ノ瀬野営場及び中宮温泉野営場は、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・施設利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品の維持管理及び修繕に関する業務等は指定管理者が行っており、中期経営目標の実施期間である平成30年度から平成34年度までは、「一般財団法人白山市地域振興公社」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況等の管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行う等、適正な管理・運営に努めています。
- ・県は指定管理者と協議し、老朽化した施設の修繕等を実施しています。

### (2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・施設の利用促進にあたっては、施設の修繕や設備の更新を行うとともに、地元食材を使用した食事を提供する等、利用者に満足していただける環境づくりに努めています。
- ・石川県自然解説員研究会と連携し、南竜ヶ馬場周辺等の高山植物等のガイドを行っています。
- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディア等を活用した情報発信を行っています。今後とも、情報発信に努めます。

### (3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、情報を共有するなど、非常時にも対応できるように連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営に努めます。
- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを施設利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努めます。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

① 宿泊者数については、現状の水準を維持するよう努めます。
② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H27～29平均)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
① 宿泊者数		8,426人	8,500人	8,500人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	97.8%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	97.5%	95%以上	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・白山室堂等の近隣施設との相乗効果を発揮するため、一般財団法人白山観光協会等の関係機関と連携を強化し、誘客に努めます。
- ・万全な衛生管理はもとより、地元食材を利用した「手づくり料理」の提供に取り組みます。
- ・引き続き、地元の小・中学校に出向いて施設のPRを行い、小中学生の団体利用の促進に努めます。
- ・引き続き、地元登山愛好団体による音楽会「星に一番近い音楽会」を開催し、施設の利用促進に努めます。
- ・施設の修繕について、現地スタッフで対応できるものは速やかに修繕します。また、利用者の利便に沿った施設の改修をできる範囲で行います。
- ・ホームページは適宜更新し、利用者の求める内容（登山道の状況等）の提供に努めます。
- ・南竜山荘の食堂を食事時間外に可能な限り開放し、利用者がくつろげる場所の確保に努めます。
- ・希望した学校・公民館等に対し、南竜山荘、南竜ヶ馬場ケビンに係る利用料金の後納を認め、利用しやすい施設を目指します。
- ・引き続き、アンケートを実施し、利用者の声を参考にしながら、施設の利用促進に努めます。

- ・ 接遇等の研修会等を開催し、職員の資質向上に努めます。

## (2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・ 施設を常に快適で安全に利用していただくため、きめ細やかな点検・保守・修繕作業により、効率的な施設の管理運営に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (単位:人)

項目	H27	H28	H29
宿泊者数	8,693	8,160	8,425

(2)利用者アンケート指標

(利用者サービス)

(単位:%)

項目	H27	H28	H29
良い	57.8	70.1	76.9
概ね良い	41.3	26.8	20.5
計	99.1	96.9	97.4
やや悪い	0.9	3.1	2.6
悪い	0.0	0.0	0.0

(施設の維持管理)

(単位:%)

項目	H27	H28	H29
良い	57.5	75.0	69.9
概ね良い	38.1	23.2	28.8
計	95.6	98.2	98.7
やや悪い	3.7	0.9	0.0
悪い	0.7	0.9	1.3

(3)使用料の収入実績

(単位:千円)

項目	H27	H28	H29
南竜山荘	7,748	7,128	6,453
南竜ヶ馬場ケビン	1,610	1,376	1,182